

第1学年 生活科学習指導案

ろ組 男子 20 名 女子 20 名 計 40 名
指導者 小 菌 博 臣

1 単 元 たのしいがっこう

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、校内の初めて目にする施設や遊具に対して旺盛な好奇心をもっており、それらを使ったり、遊んだりする中で、いろいろな発見をしたり、友達が増えたりして、学校は楽しいところであると感じ始めている。

そこで、本単元では、学校探検や友達との遊び、アサガオの栽培などの活動に、子どもたちを主体的・能動的に取り組みさせていきたい。また、その活動の中で『もっと、学校のことを知りたいな』『もっと、たくさん友達をつくりたいな』という思いや願いを達成していく楽しさを味わわせながら、活動への意欲を高めようとするものである。同時に、諸感覚を使って試行錯誤しながら学校探検や友達との遊び、アサガオの世話などができるようにして、対象へ働きかける力を培おうとするものである。また、学校で働く人々や様々な施設の役割に気付き、人との正しい接し方や安全な登下校の仕方や学校生活の仕方などを身に付けると共に、アサガオの世話の仕方などに気付いたりするものでもある。さらに、これらの活動を通して、自分の学校生活を豊かにし学校への愛着をもつことができると共に、**自分のよさや可能性に気付き、安心して学校生活を送ることができることもねらっている。**

なお、この活動は、『もっと多くの友達をつくりたい』『友達といろいろな遊びをしたい』という思いや願いとして「みんなで遊ぼう」の学習へと発展するものである。

(2) 指導の基本的な立場

学校は、子どもの学校生活を支えている多くの先生方や友達、楽しそうな遊具、初めて目にする学習用具や器具のある特別教室など、子どもたちにとって興味をひくものが多い。さらに、学校は『この部屋はどのようになっているのかな』『この遊具でみんなと一緒に遊びたいな』などという思いや願いをもたせることができるものである。また、アサガオは栽培が容易な上、生長の変化に富んだ植物である。双葉と本葉の違いが明白で、生長の過程にある発芽や開花は、子どもたちの興味・関心を十分に高めることができる。さらに、蔓性植物のため、支柱を立てるという具体的な世話が必要となり、種を収穫した際の満足感や成就感をもたせることができるものである。

このような学校やアサガオを対象とした活動に、子どもたちが主体的に取り組み、自分自身への気付きを深めることができるようにするために、**気付いたことや友達のよさなどを互いに伝え合う活動を重点化していきたい。**

具体的には、まず、「学校探検をしよう①」の活動で、友達と一緒に校庭・校舎内外を探検することを通して、学校のおおまかな様子が分かると共に、『もっと学校について知りたいな』『もっと、友達と仲良く遊びたいな』という思いや願いをもたせるようにしていきたい。また、学校周辺にも出かけ、安全な登下校の仕方にも気付かせるようにしていきたい。次に、「友達をたくさんつくる」の活動で、2年生と一緒に遊んだり、友達と一緒に遊具や校庭などで遊んだりすることで、学校生活に対して、安心感をもつことができるようにしていきたい。このような**遊びの中から自然に生じた助け合う姿や教え合う姿を価値付けて広げるようにしたい。**学校の様子がだまかに分かってきたところで、「学校探検をしよう②」の活動へと発展し、校内で興味があるところを自由に調べて回るようにしたい。そこで、自分の思いや願い生かした探検コースを設定させ、諸感覚を使った探検ができるように、探検の時間をたっぷりと確保するようにしたい。さらに、気付いたことを表現する活動では、**自分の取り組みのよさや成長に気付かせるようにするために、自分が見付けた学校の秘密を教え合ったり、友達が見付けたことを互いに認め合ったりする活動を設定す**

るようにしたい。また、学校には楽しい施設・設備があることや、自分たちの世話をしてくれる多くの上級生や先生方がいることにも気付かせるようにしていきたい。その際、国語科の単元「どうぞ よろしく」や「たんけんしたよ、みつけたよ」の学習を生かして展開するようにしたい。最後に、『2年生からプレゼントされたアサガオの種を大事に育てたいな』という思いや願いを基に、「きれいな花を咲かせよう」の活動を設定する。ここでは、**毎日の観察や世話を基に、自分の力で栽培活動に取り組む楽しさや、アサガオが生長する喜びを実感させるようにしていきたい。**

なお、活動の展開においては子ども一人一人の実態に応じた支援を行い、お互いのよさに触れ合う場を設定したり、学習したことを生かせるような教師の働きかけを行い、活動が連続・発展していくようにしていきたい。

このような活動を通して、子どもたちは活動に没頭し、活動に対する成就感や満足感を味わうと共に、自分のよさや成長を実感し、自分の生活をよりよくしていこうとする自信と意欲を高め、新たな意欲をもって次の活動に取り組むことができると考える。

(3) 子どもの実態 (対象者 ろ組 児童40名 数値は延べ人数)

<学校生活について>	
○楽しい (39名)	
友達(19名) 遊び(7名) 勉強(6名) 給食(1名)	
○楽しくない (1名)	
友達(1名)	
<学校探検への興味・関心>	
○学校探検したい (37名)	
秘密を見付けたい(21名) 楽しそう(7名)	
行ったことのない所があるから(5名)	
○したくない (3名)	
もう自分でしたから(2名) 教室で勉強したい(1名)	
<学校内で調べたい場所>	
観察池(33名) 保健室(26名) 図書室(24名) 校庭(23名)	
遊具(23名) 飼育小屋(22名) 体育館(21名)	
教室(20名) まだ行ったことがないところ(24名)	
<調べたことを伝えたい人>	
お家の人(36名) 友達(26名) 先生(20名)	
<ほめてもらいたい人>	
お家の人(37名) 友達(25名) 先生(27名)	

本学級の子どもたちは、多くが『友達と楽しく遊んだり、勉強したりしたい』『友達をもっとつくりたい』などの思いや願いをもっており、学校生活を楽しみにしている。しかし、楽しくないと感じている子どもは、『友達がない』と思っていることから、友達と遊ぶ時間を十分に確保し、友達づくりができるよう配慮する必要がある。

また、多くの子どもたちが学校探検に行きたいと考えているが、そうでない子どももいる。そこで、友達と活動する楽しさを味わわせながら展開していきたい。子どもたちは、正門や靴箱に近い観察池、保健室など、これまでの学校生活にかかわりのある場所への興味・関心が高い。そのため、探検の範囲を子どもの生活に関係のある身近な場所から、徐々に学校全体へと広げていく必要がある。

探検で調べたことを伝えたい人、ほめてもらいたい人共に家の人が多い。そこで、探検で調べたことに対して、家庭でも価値付けてもらうなど、家庭の協力を得ながら学習を展開することで自分自身への気付きを深めていきたい。なお、全体を通して、助け合いや教え合い、認め合いなど友達とのかかわりが生まれるような学習活動を

設定し、友達のよさや学校の楽しさを実感できるように展開していきたい。

(4) 指導上の留意点

ア 「学校探検をしよう①」の活動では、まず、安心して学校生活を送ることができるようにするために、子どもたちの生活に必要な場所から始め、徐々に広げて校庭や校舎外、通学路を中心に探検する。具体的には、トイレ・保健室・靴箱などを回りながら、目に入る観察池や遊具などに広げるようにする。また、安全に生活する上でも、登下校の仕方、施設や道具の使い方については、具体的に指導していく。さらに、**校内で遊んでみたい場所がどこか問いかけたり、話し合ったりして、次の活動につなげていきたい。**

イ 「友達をたくさんつくろう」の活動では、自分たちの周りには、多くの友達や上級生がいて、みんなと一緒に遊ぶと楽しいということに気付かせるために、**友達とのかかわりが生まれるようなゲームを取り入れたり、2年生との交流などを取り入れたりする。**また、探検で見付けた遊具や観察池で楽しく遊ぶことを通して、学校生活に安心感をもてるようにしていきたい。

ウ 「学校探検をしよう②」の活動では、子どもたちがゆっくり、たつぷりと興味・関心に応じた校舎内の探検ができるようにするために、活動を2回に分けて行うようにする。まず、1回目は学級全員で主な教室を探検し、安全面の確認をした上で、校舎内の様子に気付くようにしたい。2回目の探検では、自分の思いや願いをもって、興味をもった場所を中心に探検させていきたい。また、諸感覚を使って活動している子どもを称賛し、広げていきたい。さらに、探検したことのまとめ・発表では、自分が見付けたことを絵や言葉で表現させながら、友達のよさにも気付かせ、互いに認め合うことで、自分の取り組み方のよさに気付かせるようにしたい。

エ 「きれいな花を咲かせよう」の活動では、自分の力で育てたという満足感・成就感をもたせるようにするために、諸感覚を使った観察や世話の仕方を観察カードなどに残し、アサガオの生長や変化に気付かせるようにしたい。さらに、観察して気付いたことや、感じたことなどを互いに教え合うことで、自分の取り組み方への自信と日常的な栽培活動への意欲を高めるようにする。

3 目 標

- (1) 友達と遊んだり、学校内を探検したりする活動を通して、『学校生活を楽しく過ごしたい』という思いや願いをもち、進んで多くの友達や先生と触れ合ったり、学校内を探検したり、アサガオを育てたりする活動に意欲的に取り組むことができる。
- (2) 友達と協力したり、分からないことをインタビューしたりしながら探検活動ができると共に、活動の中で楽しかったことや気付いたことを表現することができる。
- (3) 学校内の様子や人々の役割、アサガオの世話の仕方に気付き、学校への愛着をもつと共に、安全な登下校や歩行・あいさつなどの適切な習慣・技能を身に付けることができる。また、活動を通して、自分のよさや成長に気付くことができる。

4 指導計画（全 22 時間）

活動する楽しさ	活 動 名 (意識の高まりと気付きの様相)	主な学習活動 (時 間)	学 習 形 態 教師の具体的な働きかけ
○校庭や通学路にあるものをいろいろ見付ける楽しさ ○校庭や遊具で友達と一緒に遊ぶ活動に浸る楽しさ ○2年生と一緒に遊び、プレゼント(アサガオの種)をもらう楽しさ ○学校内をみんなで探検し、様々な教室や道具などを見付ける楽しさ ○好きな場所を詳しく探検する楽しさ ○見付けたことをまとめたり、友達に教えたりしたりする楽しさ ○アサガオの種を植え、生長を期待して世話する楽しさ	・学校ってどんなところだろう。探検したいな。 学校探検をしよう①	みんなで校庭・校舎外を中心に探検する。(2) 正門付近の通学路を全員で探検する。(2)	○ 校内の大まかな様子が分かるように全員で探検する。 ○ 登下校中の安全について考えさせるために、警備員や近くの信号等に気付かせる。 ○ 友達同士のかかわりがもてるように、鬼ごっこや集団遊びを取り入れて遊ばせる。 ○ 2年生との活動は、今後の活動に生かせるように、相手を決めて取り組ませる。 ○ 2回目の探検の目的を明確にするために、みんなで探検を行い、インタビューの仕方や入室の仕方などの探検のルールを話し合い、自分たちで探検できるようにする。 ○ 自分の取り組みのよさに気付くために、互いのよさを認め合う活動を設定する。 ○ 普段の栽培活動への意欲を高めるために、気付いたことを友達と教え合ったり認め合ったりする場を設定する。 ○ 満足感・成就感を高めるために個に応じた称賛をする。
	・もっと友達を増やしたいな。 友達をたくさんつくらう	友達と一緒に遊具や施設で楽しく遊ぶ。(2) 2年生と遊んだり、アサガオの種のプレゼントをもらったりする。(1)	
	・友達がたくさんできたよ。 ・今度は、学校の中も探検してみたいな。 学校探検をしよう②	探検の約束を決め、校舎中をみんなで探検する。(2) 自分ができたことや見付けたことを発表する。(1)	
	・学校にはいろんな教室や道具があるんだな。 ・学校の秘密を知って、学校がもっと好きになったよ。 ・2年生にもらった種を植えたいな。 きれいな花を咲かせよう	もう一度、グループで探検したい場所へ行って知りたいことを調べる。(5) 見付けたこと友達に紹介し、互いに認め合う。 本時1/2 (2)	
	・アサガオを育てられたぞ。 ・もっと、いろんな植物を植えたいな。	アサガオの種を植え、観察や世話をする。(3) アサガオの種を収穫し、これまでの活動を振り返る。(2)	

5 本 時 (16/21)

(1) 目 標

ア 『自分で見付けた学校の秘密をみんなに教えたいな』という思いや願いを基に、自ら進んで気付いたことを自分なりにまとめる活動に取り組むことができる。

イ 自分が見付けた学校の秘密を友達に分かりやすくまとめることができると共に、互いの取り組み方のよさに気付き、認め合うことができる。

(2) 本時の展開に当たって

友達とのかかわりが生まれ、互いのよさに気付くことができるように、場所ごとに広幅用紙にまとめるようにする。また、互いのよさを認め合うことができるように、友達のいいところをカードに書かせるようにしたい。

(3) 準 備

発見カード、広幅用紙、パス、色鉛筆、すごいぞカード、行ってみたいなカード、のりなど

(4) 実 際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
意欲をもつ	1 本時の学習について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> これまでの学校探検でたくさんの附属小の秘密を見付けたよ。 この秘密を友達に教えたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> たんけんして、ふぞくしょうのひみつをわくわくしいとにまとめよう。 </div>	7	<ul style="list-style-type: none"> 自分が見付けた秘密をまとめたいたいという意欲を高めるために、探検の様子の写真を示したり、校内の写真を見せて問いかけたりする。 わくわくシートを作りたいなという意欲を高めるために、広幅用紙を提示する。 活動に見通しをもてるようにするために、まとめ方や、気を付けることなどを話し合うようにする。 互いのよさを認め合うことができるように、『すごいな』『行ってみたいな』と思った友達の気付きに、「すごいぞカード」や「行ってみたいなカード」を書かせるようにする。
	2 どのようにしてまとめるか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 場所ごとにまとめると分かりやすいね。 友達と協力してまとめると、すごいのができるかもしれないぞ。 		
活動する	3 場所ごとにわくわくシートにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> 家庭科室は、料理や洗濯のお勉強をするって、家庭科の先生が言っていたよ。 コンピュータ室のパソコンを数えてみたら、〇〇台あったよ。 飼育小屋にはウサギがいたよ。えさは、クッキーみたいな食べ物だったよ。 校長室の壁には、オリンピック選手のサインがあるよ。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;">インタビューしたんだね。すごいな。</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;">初めて知ったよ。行ってみたいな。</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自信 ・友達にほめられてうれしいな。 ・友達と協力してまとめられたよ。 ・たくさんの秘密を発見してよかったな。 </div>	30	<ul style="list-style-type: none"> 個への対応 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (1) <u>進んでまとめている子ども</u> 子どもの気付きを称賛すると共に、なぜ気付いたのか問いかけ、その取り組み方や考え方のよさを価値付ける。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (2) <u>活動に戸惑っている子ども</u> なぜ、戸惑っているのか聞いたり、友達の様子を観察させたりして、自分なりに活動に取り組めるように支援する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (3) <u>まとめる活動が早く終わった子ども</u> 活動をやり遂げたことを称賛すると共に、友達の気付きのいいところをたくさん見付けるようにさせる。 </div>
	4 本時の学習を振り返り、次時の活動への意欲をもつ。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 意欲 ・もっと学校のことを調べてみたいな。 ・みんなで作ったわくわくシートを、他の人たちにも見てもらいたいな。 </div>		
振り返る		8	<ul style="list-style-type: none"> これまでの自分の取り組みに自信をもつことができるようにするために、自分のがんばりや友達のよさを発表し合うようにする。 次時への意欲を高めるようにするために、子どもの気付きに問いかけ、価値付けたり称賛したりする。

第1学年 単元「たのしいがっこう」(学びの構造図) 本時(16/21)

1年ろ組 指導者 小 蘭 博 臣

1 本時のねらい

- ア 『自分で見付けた学校の秘密をみんなに教えたい』『友達が調べた学校の秘密を知りたい』という思いや願いを基に、進んで気付いたことを自分なりにまとめる活動に取り組むことができる。
- イ 自分が見付けた学校の秘密を、友達に分かりやすくまとめることができると共に、互いの取り組み方のよさに気付き、認め合うことができる。

2 本時の展開にあたって

友達とのかかわりが生まれ、互いのよさに気付くことができるように、場所ごとに広幅用紙にまとめるようにする。また、互いのよさを認め合うことができるように、友達のいいところをカードに書かせるようにしたい。

3 準備

発見カード、広幅用紙、色鉛筆、のり、すごいぞ・みたいなカード、提示用写真 など

4 実際

進	主な学習活動 (子どもなりの学びの様相)	進	進	教師の具体的な働きかけ
意欲を持つ	<p>これまでの学習について振り返り、本時の学習でやってみたいことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで、学校の秘密をくわしく調べて、たくさんの発見カードを書くことができたよ。 この発見カードを使って、みんなに学校のいいところを教えたいな。 ぼくの発見カードをわくわくシートに貼りたいな。 みんなの発見が集まると、すごいわくわくシートになりそうだぞ。 早く完成させたいな。 	↑	7	<p>教卓</p> <p>□○○○○○○○○ □○○○○○○○○ □○○○○○○○○ □○○○○○○○○ □○○○○○○○○ □○○○○○○○○ □○○○○○○○○ □○○○○○○○○</p>
	<p>『はっけんわくわくしいと』をつかって、ともだちのはっけんのいいところをみつけよう。</p>			
活動する	<p>活動の仕方を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 場所ごとに分けてシートに貼ると分かりやすいね。 のりの使い方を初めて知ったよ。使ってみたいな。 	↓	3	<p>T1・・・『自分の発見をみんなに教えたい』という思いや願いを高めるために、これまでの学校探検を、写真や発見カードを使って振り返るようにする。</p> <p>T2・・・活動への期待感を高めるために、わくわくシートを提示し、めあてを設定する。</p> <p>T3・・・のりの使い方については、具体的に指導する。</p> <p>T4・・・シートに貼り付ける活動中は、丁寧に貼り付けている姿や、友達の協力をしている姿などを称賛したり、活動に戸惑っている子どもの援助をしたりして、個に応じた支援をする。</p>
	<p>わくわくシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくのとっておきの秘密は、教頭室で大きなテレビを見付けたことだよ。 歴史資料室には、昔のお金が飾ってあるよ。 初めてのりを使ったけど、丁寧に貼ることができた。 できた。はっけんわくわくシートの完成だ。 			
振り返る	<p>できあがったシートや友達の発見カードを見て、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなたくさんの秘密を見付けたんだね。 ○○君は、わたしの気付かなかったことに気付いたんだね。すごいな。 また、歴史資料室に行って、□□さんが言った昔のお金を見てみたいな。 	↑	10	<p>T5・・・出来上がったシートを見て、友達のいいところを発表させ、その視点や考え方のよさを称賛し、全体へ広げるようにする。</p> <p>T6・・・「すごいぞ・みたいなカード」を提示し、記入の仕方を具体的に説明する。</p>
	<p>気付いたことを基に、もう一度わくわくシートを見ながら、「すごいぞカード」や「見たいなカード」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に「すごいなカード」をもらった。うれしいな。 たくさんの秘密を発見してよかったな。 			
	<p>これから、がんばってみたいことややってみたいことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> もっと、学校のことを調べてみたいな。 はっけんわくわくシートをみんなに見てもらいたいな。 	↓	7	<p>(1) 意欲的に友達のいいところを書けている子ども意欲的であることを称賛し、友達のいいところを探す視点や、その考え方のよさを価値付ける。</p> <p>(2) 活動に戸惑っている子どもなぜ、戸惑っているのか問いかけ、その原因をみんなに投げかけたり、友達の活動を紹介したりする。</p> <p>(3) 早く終わった子どもやり遂げたことを称賛すると共に、もっと友達のいいところはないか問いかけたり、シート全体を見て気付いたことがないか問いかけたりする。</p> <p>T7・・・友達のいいところを発表させると共に、見付けた自分自身のよさにも気付かせ、価値付けるようにする。</p> <p>T8・・・友達にほめられたときの感想も問いかけ、活動への満足感を高め、広げるようにしたい。</p> <p>T9・・・これからがんばってみたいことややってみたいことを問いかけ、今後の活動への意欲を高めるようにする。</p>